

## 令和5年度第3回茂原市地域公共交通会議 議事概要

日 時 令和5年11月13日（月）  
午後2時15分から午後3時17分まで

場 所 茂原市役所5階 502会議室

出席者 委員 16名

深山委員（代理：加藤）、鶴野委員、清藤委員（代理：上原）、清水委員（代理：吉野）、平見委員（代理：川島）、丸岡委員、平井委員、梅田委員、小林委員、小松委員（代理：成松）、大木委員、豊田委員、平井委員、渡辺委員、金野委員、藤井委員

事務局 5名

都市計画課 積田課長、川崎補佐、野村係長、小関副主査、酒井主事

会議内容（進行：川崎補佐）

- 1 開会 午後2時15分
- 2 会長あいさつ
- 3 議事

茂原市地域公共交通計画（素案）の報告について

<質疑>

委 員：106頁【事業9】新たな公共交通の導入可能性の研究について、前回会議でバス・タクシー協会の方から「運転手不足」という表現はやめてほしいという意見があった。バス・タクシー事業者は高齢化が深刻化している中で、という表現のほうが良いのではないかと。

委 員：ある程度仕方ない部分もある。今後バスの本数を維持していくうえで人員不足は課題となっている。「運転手不足」という表現をどうするかは弊社に持ち帰って検討したい。

委 員：「運転手」ではなく「運転士」という表現の方がモチベーションが上がるという意見もあるため検討して欲しい。

会 長：鉄道関係だと運転士となっているが、ドライバーも運転手ではなく、運転士に代わってきているのか。職として明確な位置づけをするのに他の自治体も使用しているのか。

委 員：他市でも運転士として記載していることが多くなっている。

委 員：106頁【事業8】スクールバス等の有効活用検討について、スクールバスを利用して人の移動を促す【事業8】に移動販売車についての記載があるが、移動販売車は【事業11】商業施設との連携施策の検討に移動したほうが良い。また、スクールバス「等」となっているが、「等」に該当するものがないようであればスクールバスに限定しても良いのではないかと。

事務局：【事業8】の移動販売車に関する記述については、【事業11】に移動する。「等」については自

自動車教習所のバスや通院バスもあるため、その内容を記載する。

委員：是非協定まで結んで実行していただきたい。流山市では通院バスが市民にも利用できるようになってきているが、八千代市では病院患者を送迎するためだけに運行しているため、市民は乗れない。市原市でも難しいという回答があった。まずは状況を確認して、相談してみたい。

会長：検討となっているため、実現可能性が高い事業について積極的に記述して欲しい。

委員：自動運転バスとグリーンスローモビリティはどのようなイメージでどの程度の規模なのか。松戸市では小金原地区で導入しているが、茂原市内全域で運用するのか。

事務局：ゴルフ場のカートをイメージして欲しい。5～6名程度が乗車でき、20～30キロ程度の速度で、公道も走ることができ、最寄りのバス停やスーパーに行ける距離を想定している。

委員：自動運転については、今年度、国土交通省の補助制度を活用して富里市で検討している。グリーンスローモビリティについては千葉市、富里市で検討しており、四街道市は実際に稼働している。市原市でも検討し始めており20～30キロ程度出せるが、公共交通（バス・タクシー）とバッテリーしない仕組みについて検討を行っており、例えば、UR団地内の移動支援や公共交通への乗り継ぎ等を検討している。電気自動車を使用し環境にやさしい公共交通として、エリア限定して使用していくことになっている。茂原市でも公共交通をフォローアップするためのグリーンスローモビリティとして検討して欲しい。

会長：必要などころに適切に導入するというのを検討して欲しい。

委員：前回会議で自家用有償旅客運送については、既存公共交通が不十分な場合に検討するという話だったが、既存公共交通が不十分にならないために、高齢化・人員不足などを解消するため、茂原市に求職者を集めるセミナーを定期的を開催する協力をお願いしたい。

会長：市役所と連携する方向性について検討して欲しいが、追記できるか。

事務局：102頁の【事業3】路線バスの維持・利用促進で、運転手確保についてハローワークとの連携を記載しているが、【事業6】のタクシー事業者については記載がないため追記を検討する。

事務局：欠席の委員からの意見を紹介したい。95頁5-4のタイトルは「将来の公共交通ネットワークの方向性」に変更する。7行目に「これらの公共交通を相互に連携させることで、利用促進を図っていく」と追記。102頁の実施項目について「路線バスの維持」でなく、「路線バスの維持・利用促進」に統一。106～107頁の実施スケジュールについて、令和6年度と令和7年度が空欄となっている事業があるため、空欄になっている年度については、先進自治体などの情報収集を行うなど、調査に努めていく。令和6～7年度については、市民バスやデマンド交通の再編に優先的に取り組みながら、各種事業の実施に当たっては、5年間の計画期間中も見直しを行うなど、柔軟に対応していきたいと考えている。6頁と95頁の地図上に二宮福祉センターを追記する。

委員：令和6年度と令和7年度の空欄については、他の事業を重点的に推進しているのであれば、空欄のままでも問題ないと思うが、国の補助を受けられる可能性もあるため、点線で結ぶ方法もある。

事務局：点線（情報収集等）と記載したい。

委員：運転手不足については自治体でも悩まれており、先日静岡県内4市程度集まって、バス・タクシー事業者の運転手を集める取組みとして、体験学習を行っており、2～3名程度運転手として働き始めている。実際に今実施している取組みがあれば計画に載せておくことも検討して欲しい。また、市役所とバス事業者が女子学生に就職説明会を行い、地域内で女性が働きやすい

環境を整えるなどを推進しているところもある。自衛隊のOBを紹介し、バス事業者と一緒に取り組んでいる自治体もある。他には、親が送り迎えをしており、子供が公共交通の乗り方を知らないため、教育委員会と協力してバスの乗り方、交通系カードの使い方など学校プログラムの中で学習機会を作っているという話も聞いたことがあり、茂原市でやりやすい取り組みがあれば検討して欲しい。

委員：千葉県としても運転手不足について認識しており、11月からバス・タクシー業界と就職説明会、採用セミナーでやりがいや魅力について記載しているポータルサイトを立ち上げており、他市からも協力依頼をいただいているので広報として協力していきたい。

会長：市単独だけでなく、県や事業者との連携が必要であると考えている。

委員：【事業3】路線バスの維持・利用促進の実施項目で、「維持」と記載されているが、どの程度を考えているか。

事務局：現在のバス路線を増やすことは厳しいと考えており、現在の運行路線・便数は維持して欲しい。

委員：【事業3】路線バスの維持・利用促進と記載されているが、維持のみだと利用者がどんどん少なくなってくるため、利用促進がとても大事になってくる。国の補助としても利用者が少なくなってくると制度改正で補助が付かなくなる可能性があるため、運転手不足という現状もあるが、今後を考えて事務局が利用促進の仕組みを検討していかなければならない。

会長：計画を作る人の思いや意図が言葉に表れるので、方向性を示す言葉を記載して欲しい。今回の意見を踏まえた計画修正を行ってパブリックコメントを実施するということだが、スケジュールを説明して欲しい。

事務局：本日頂いた意見を踏まえて修正を行い、確認事項については委員に個別に確認を行い、素案から案とした上で、パブリックコメントを実施する予定。委員の皆様には1月の会議にて承認をいただく。

#### 4 事務連絡

茂原市地域公共交通計画策定に係る今後のスケジュールについて

#### 5 その他

#### 6 閉会 午後3時17分